

原子力安全対策関連予算【平成25年度当初予算案】

～UPZ(緊急時防護措置を準備する区域)に位置づけられたことに伴う安全対策の強化～

平成25年度
当初予算事業費
約12億円

背
景

- 環境省に「原子力規制委員会」設置
- 原子力災害対策特別措置法の改正
- 境港市、米子市の一部がUPZの範囲内に
- 中国電力との島根原発安全協定(改定協議中)

総事業費
(緊急経済対策+25年度当初)
約19億円

原子力防災対策基盤の緊急整備

875百万円

- 原子力防災対策事業(352百万円)
 - ①防護資機材(防護服、サーベイメータ等)の整備
 - ②モニタリングシステム保守管理
 - ③原子力防災ネットワークシステム改修(島根県オフサイトセンターとの通信確保)
- 島根原子力発電所に係る原子力防災緊急対策事業(472百万円)(緊急経済対策)
 - ①災害対策本部、緊急事態対処センター(新設)の映像システム整備
 - ②衛星による映像送信システム強化
 - ③西部総合事務所の災害対策本部機能強化(施設改修、備品整備)
 - ④WEB会議システム増強整備(サーバ増設、保守体制強化)
 - ⑤簡易サーベイメータ等整備
 - ⑥要援護者等屋内退避施設整備 等
- 大規模災害に備えた備蓄事業(51百万円)(緊急経済対策)
 - 県営広域避難所への資材(毛布等)の整備 等

平常時モニタリング体制の整備

372百万円

- 島根原子力発電所に係る平常時モニタリング事業
 - ①島根県等とのモニタリングシステムの一体化
 - ②既設モニタリング局の設備増強(装置の追加)
 - ③モニタリング監視局の増設
 - ④原子力環境センター(仮称:衛生環境研究所に設置)の設計 等

被ばく医療体制の整備

437百万円

- 被ばく医療体制整備事業
 - ①二次被ばく医療機関への施設等整備に対する補助
 - ②被ばく医療機関に必要な資機材の整備
 - ③安定ヨウ素剤の備蓄
 - ④スクリーニング会場で使用する用品の整備 等

原子力防災訓練(1月26日)を踏まえた新規事業(再掲) ～約5億円～

- 島根原子力発電所に係る原子力防災緊急対策事業(272百万円)(緊急経済対策)
 - ※災害対策本部、緊急事態対処センター(新設)の映像システム整備
 - ※西部総合事務所の災害対策本部機能強化(施設改修、備品整備) 等
- 原子力防災対策事業(4百万円)
 - ※原子力防災ネットワークシステム改修(島根県オフサイトセンターとの通信確保)
- 島根原子力発電所に係る平常時モニタリング事業(189百万円)
 - ※既設モニタリング局の設備増強 等
- 大規模災害に備えた備蓄事業(51百万円)(緊急経済対策)
 - ※県営広域避難所への資材(毛布等)の整備 等

通信基盤体制の強化

194百万円(緊急経済対策)

- 鳥取情報ハイウェイ強靱化事業(最重要区間の迂回路整備等)
- 庁内情報共通基盤強靱化事業(庁内LANデータベース複製化)
- 全国知事会Web会議通信機器等増強整備事業